

市政ホット ニュース

hot news!



市では、会場となる「きたえーる」周辺のバリアフリー化を進めてきました



第6回DPI世界会議札幌大会

期日 10月15日(火)～18日(金)

会場 北海道立総合体育センター
「きたえーる」
(豊平区豊平5の11)

hot news

4年前のDPI世界会議メキシコ大会の様子。今回の札幌大会では、国連での障害者権利条約の制定を目指します

第6回DPI世界会議 札幌大会開催

●世界各国から二千人を超える参加者が札幌に

十月十五日(火)から十八日(金)までの四日間、DPI(障害者インターナショナル)世界会議が、豊平区の「きたえーる」で開催されます。

DPIは、国際障害者年の一九八一年、世界五十三カ国の障害者の代表により結成された非政府組織(NGO)。現在は百二十カ国以上の団体が加盟し、障害者の「完全参加と平等」の実現を目指し全世界で活動しています。

障害者自らが運営主体となる世界会議は、四年に一度開催されます。日本では初めてとなる札幌大会には、世界百カ国以上から障害者や福祉関係者など約二千人が参加。「すべての障壁を取り除き、違いと権利を祝おう!」を大会テーマに、「人権」「自立生活」など障害者を取り巻く問題について幅広く話し合います。最終日には札幌宣言を採択し、長年の課題である国連での障害者の権利条約制定に結び付

けていく考えです。

一方、大会運営を支える大きな力となるのが、「要約筆記」「通訳」など、延べ三千三百人にも及ぶ市民ボランティアの皆さん。一年以上も前から、本番を想定した介助・実技講座を繰り返してきました。また、豊平地区の方々が会場で日本文化などを紹介するほか、市内各地で有志の方々によるイベントが開催されます。

市では、札幌大会を成功させるだけでなく、誰もが安心して暮らせる街を実現するために、「福祉のまちづくり条例」に基づき、都心部や会場周辺、公共施設などのバリアフリー化を進めてきました。来訪者に「福祉のまち札幌」を実感してもらえよう、皆さんも街で大会参加者と出会った時には、国籍や障害の有無を超えて、積極的に声を掛けてみてはいかがでしょうか。

【詳細】DPI世界会議札幌大会事務局 ☎(632)7666